

【草花の部屋】

ガウラ(アカバナ科ガウラ属 *Gaura lindheimeri*)

和名：ヤマモモソウ(山桃草) **別名**：ハクチョウソウ(白蝶草)

英名：White gaura

フトモモ目 多年草 **原産地**：北アメリカ

言葉：負けずぎらい、清楚、我慢できない、神秘、舞姫

花の色：赤、桃、白、複色



← 写真-1 ガウラ(桃)

撮影日：2016年05月26日

撮影場所：ニース

(フランス)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 ガウラ(桃)の花

撮影日：2016年05月26日

撮影場所：ニース

(フランス)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ガウラ(白花)

撮影日：2016年05月27日

撮影場所：アルル(フランス)にて

撮影者：M さん



← 写真-1 ガウラ(白花)の花

撮影日：2016 年 05 月 27 日

撮影場所：アルル(フランス)にて

撮影者：M さん

桃色の種は、ニースの朝市からホテルに戻る途中の、プロムナード・デ・パイヨンに植えられていました。白色品種は、ゴッホが 2 年間住み、約 300 点の作品を残した街、アルルで見かけました。それにしても、雄蕊と雌蕊の長い花です。が、それなりに可愛さが・・。

日本には明治時代中期に渡来し、一部の地域で野生化しているそうです。ヤマモモソウ(山桃草)の和名を持ちますが、花色に因んだものでヤマモモとは関係が無いそうです。花は 4 枚の花弁を持っていますが、下の 2 枚は水平に広がり、長い 8 本の雄蕊が下に垂れ下がります。この花姿が蝶のように見えることからハクチョウソウ(白蝶草)の別名も・・。細い茎に咲いた花がゆらゆらと風に揺れる姿は、蝶が舞っているようで風情があります。